

令和 7 年度 当初予算案等の概要

< 目 次 >

01 予算案と重要施策	1
02 重要施策の概要	3
健康づくりの推進	3
医療環境の整備	7
健康で安全な暮らしの確保	9
03 組織編成案	15

01 予算案と重要施策

令和7年度の予算案及び福岡市保健福祉総合計画第2部健康・医療分野の施策体系に基づいた重要施策は以下のとおりです。

(1) 令和7年度予算案の概要

- 一般会計の予算規模は、子ども医療費助成の増などにより、約57億円の増
- 後期高齢者医療特別会計の予算規模は、
後期高齢者医療広域連合への納付金の増などにより、約25億円の増
- 国民健康保険事業特別会計の予算規模は、
保険事業費納付金の増などにより、約10億円の増

(単位：万円)

	令和7年度	令和6年度	増減額
一般会計	876億937	818億9,509	57億1,428
後期高齢者医療特別会計	272億7,849	247億4,396	25億3,453
国民健康保険事業特別会計	1,447億8,336	1,437億8,481	9億9,856
市立病院機構 病院事業債管理特別会計	6億6,358	8億3,418	▲1億7,060
計	2,603億3,480	2,512億5,803	90億7,676

※ 金額については、万円未満を四捨五入しており増減額が一致しない場合がある。

(2) 重要施策の体系と予算案

健康づくりの推進

99億5,710万円

ア 超高齢社会に対応する健康づくりの推進	4,006万円
イ 生活習慣病対策の推進	13億2,954万円
ウ 女性の健康づくりの推進	900万円
エ 次世代の健康づくりの推進	84億6,147万円
オ こころの健康づくりの推進	5,555万円
カ 地域や職場などでの健康づくりの推進	3,869万円
キ 健康づくり支援の仕組みと環境づくり	2,279万円

医療環境の整備

101億3,382万円

ア 救急医療体制・災害時の保健医療体制の充実	17億8,919万円
イ 難病対策の推進	42億0,383万円
ウ がん対策の推進	14億4,271万円
エ 市立病院等の充実	26億1,118万円
オ 医療安全等対策の推進	8,485万円
カ 外国人にもやさしい保健医療環境の推進	206万円

健康で安全な暮らしの確保

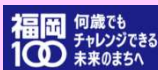
90億4,001万円

ア 感染症対策の推進	65億7,805万円
イ 薬物乱用及び薬物依存症の対策の推進	795万円
ウ 食品衛生の推進	1億5,908万円
エ 環境衛生の推進	8億6,732万円
オ 動物の愛護・適正飼育の推進	1億1,351万円
カ 保健衛生・環境分野に関する試験・研究等の推進	2億8,256万円
キ 国民健康保険事業の安定的な運営	10億3,153万円

※ 金額については、万円未満を四捨五入しており計が一致しない場合がある。

02 重要施策の概要

健康づくりの推進



- 子どもから高齢者までそれぞれのライフステージに応じた健康づくりを社会全体で推進し、市民の健康寿命の延伸を図ります。
- また、市民が子どもの頃から健康づくりに関心を持ち、積極的に取り組める環境づくりを進めます。

噛む活（口腔保健支援センター）

2,407万円

「福岡市民が将来の要介護状態の発症を予防するには咀嚼機能の向上が重要」というエビデンスに基づき、市民の咀嚼機能の向上を図る取組みを実施

よく噛む習慣づくりの推進

新規「噛む活」（ガムを活用した啓発と咀嚼機能チェック）の実施

ガムを毎日複数回、継続して噛むと咀嚼機能が向上

＜市民の咀嚼に関するエビデンス＞

ガムを活用し、「よく噛むことの習慣化」を図る

咀嚼機能が「良好」の者に比べ、「難あり」の者は**1.2倍**、「不良」の者は**1.6倍**、**要介護発生リスクが高い**

ガムを活用した啓発

脳の活性化や肥満予防、オーラルフレイル予防など噛むことの効果を伝える啓発媒体と一緒にガムを配布

歯科医院での咀嚼機能チェック

噛むと色が変わるガムを活用した咀嚼機能チェックと、結果に基づいて食べ方などのアドバイスを提供



咀嚼を意識



一口30回以上噛みましょう

オーラルケア28（にいはち）プロジェクト（口腔保健支援センター）

4,858万円

治療よりも予防に重点をおいた、エビデンスに基づく全世代の歯と口腔の健康を守るプロジェクト

産学官の資源を活かし、オール福岡で歯科口腔保健を推進

福岡市歯科医師会、福岡県歯科衛生士会、九州大学、福岡歯科大学などの関係機関と協力し、乳幼児・学齢期、成人期、高齢期など各ライフステージの特性に応じた効果的な歯科口腔保健推進プロジェクトを実施

〔乳幼児・学齢期〕
ポケモンスマイルではみがき大作戦



小学1年生向けの啓発

放課後児童クラブ等への
歯科衛生士派遣

放課後児童クラブ等での啓発

〔成人期〕

産婦歯科健診



産婦向けの無料歯科健診

デンタルチェック18～20

18歳から20歳向けの
無料歯科健診

〔高齢期〕

高齢者施設職員向けの
動画配信等による
口腔ケアの実践拡大



＜口腔と全身の健康との関連＞

口腔機能の低下により、
フレイルや総死亡のリスクがそれぞれ
2.4倍、2.1倍に上昇

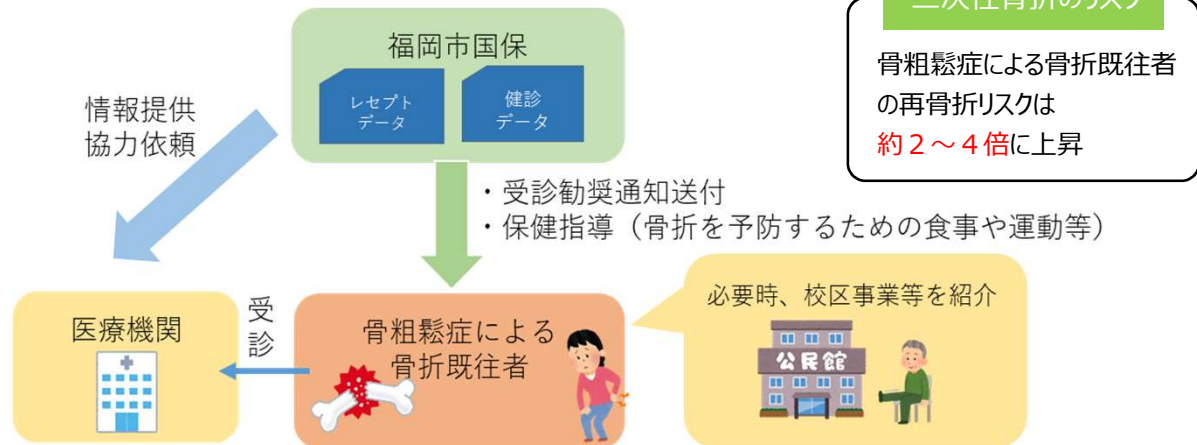
二次性骨折予防事業（保険医療課）

1,313万円

国民健康保険被保険者のうち、骨粗鬆症による骨折既往者^{しょう}を対象に、骨粗鬆症治療を促す受診勧奨や骨折予防のための保健指導を実施

防ごう！骨折ドミノ（骨粗鬆症による再骨折を予防）

新規 受診勧奨通知送付と保健指導を実施



高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施（保険医療課）

2,192万円

医療・健診・介護データを活用し、後期高齢者の保健事業と介護予防事業（福祉局）を一体的に実施し、効果的かつ効率的に支援

健康課題のある高齢者をきめ細かに支援

医療・健診・介護データをもとに健康課題を分析し、事業を企画・調整

- 国保データベースシステム等を活用し、医療・健診・介護データを分析
- 庁内関係部署や医療関係団体等と連携し、一体的実施事業を推進



保健事業

疾病予防・重症化予防

健康課題がある後期高齢者に、専門職が家庭訪問による保健指導を行い、必要なサービスへつなげる

○高齢者に対する個別的支援（健康診査フォローアップ事業）



連携

介護予防事業

生活機能の改善

フレイル予防の健康教育・健康相談

特定保健指導の遠隔実施事業（保険医療課）**941万円**

ICTを用いた遠隔による特定保健指導を実施（定員：200名）

保険者・医療関係者連携による生活習慣病重症化予防事業（地域保健課）**1,664万円**

医療保険者や医療関係者と連携して、全ての市民を対象にCKD（慢性腎臓病）重症化予防の仕組みを構築

子ども医療費助成（保険医療課）**84億6,147万円**

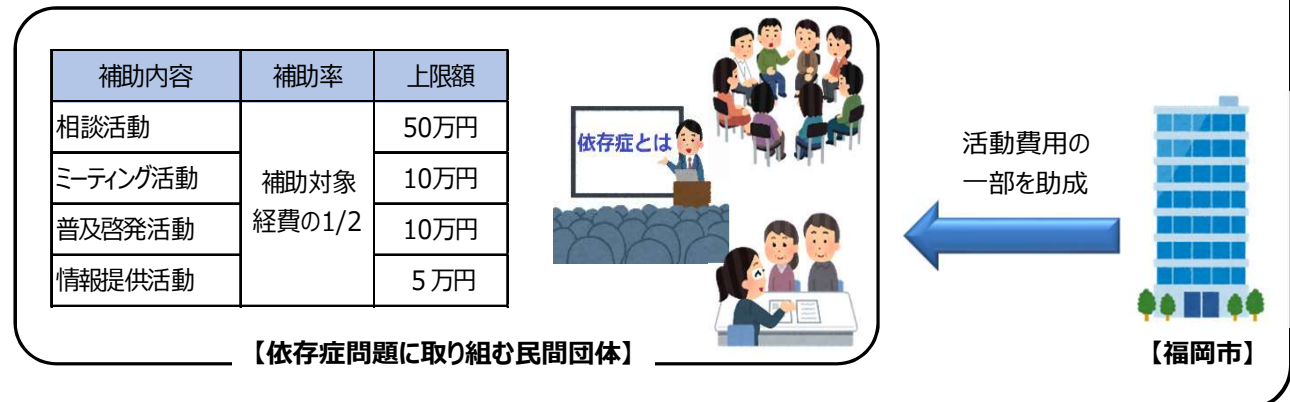
高校生世代までの医療費助成を実施

依存症対策の推進（精神保健福祉センター）**460万円**

依存症問題に取り組む民間団体の活動を支援し、アルコール、薬物、ギャンブル、ゲーム・ネットの依存症の方とその家族に関わる機会を増やすことで早期の相談支援を促進

依存症問題を抱える方の早期の相談支援を促進**新規 依存症問題に取り組む民間団体活動支援事業**

アルコール、薬物、ギャンブル、ゲーム・ネットの依存症問題に取り組む民間団体の活動にかかる費用を一部助成

**ひきこもり支援推進事業**（精神保健福祉センター）**2,162万円**

ひきこもり成年地域支援センターにおいて、成人期のひきこもり者やその家族の相談・居場所支援等を実施

自殺対策（精神保健・難病対策課、精神保健福祉センター）**1,838万円**

各関係機関・団体が緊密な連携を図りながら、自殺対策を総合的かつ効果的に推進

Fitness Cityプロジェクト（保健医療政策課）**150万円**

アプリ等を活用した、まち歩きを後押しする仕掛けづくりやイベントを実施

女性の健康づくり推進事業（地域保健課）

900万円

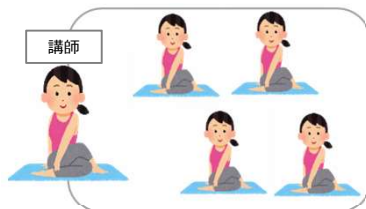
ロコモティブシンドロームなど、女性特有の健康問題に着目した運動習慣定着に向けた取り組みを実施

女性の健康的なカラダづくりを推進

ロコモ予防の啓発と運動の促進

○エクササイズ体験教室

ロコモ予防のきっかけづくりとして、主に30代～50代の子育て中や働く世代の女性に向けて実施



○ながらエクササイズ動画広報

日常生活の中で気軽に取り組める運動動画の広報周知



○アラカンフェスタにてロコモ予防ブース出展

立ち上がりテスト等を実施し、ロコモ啓発を行う



新規 若年層のやせ課題

○ワークショップ開催

若年女性のやせがもたらす健康課題について、当事者である若い女性と課題を共有し、効果的な情報発信の方法等について協議



健康づくりチャレンジ事業（地域保健課）

1,227万円

市民が健康づくりに関心を持ち、気軽に取り組むことができる仕組みづくりを推進

健康ウォーキング推進事業（南区）（地域保健課）

200万円

「地域の健康づくり活動」を後押しするため、

「若久通り」にて、周辺地域・大学・企業と連携し、運動や体力測定などを行うウォーキングイベントを実施

運動の動機づけ

令和6年度

「福岡100」の一環として、身近な道路を活用し、地域の健康づくりを後押しするためのウォーキングコースを南区若久通りに整備



令和7年度

利活用

新規 歩きたくなるイベントの実施（運動の動機づけ）



- 若久通りウォーキングイベント
- 体力測定や簡単な運動を行う機会の提供
- 家族みんなでロコモ予防～みんなでロコモチェック～
よかトレ実践ステーション、ウォーキンググループ紹介
- 南区健康推進連合会、ヘルスメイト
活動紹介ブースの設置 などのイベントをパッケージで実施

(例)



医療環境の整備



- 様々なニーズに応じた医療環境の充実が求められるため、限られた医療資源の中で、市民に良質な医療を継続して提供できるよう、取り組みます。

予防接種（子宮頸がん予防ワクチン）（健康危機管理課）

2億4,358万円
（他、繰越分：4億3,723万円）

子宮頸がん予防ワクチンの接種を推進し、子宮頸がん予防に取り組む

子宮頸がん予防ワクチン接種事業

新規 キャッチアップ接種の延長

キャッチアップ接種対象者等（H9～H20年度生まれ）のうち、令和4年4月から令和7年3月までのキャッチアップ接種期間中に1回以上接種した方を対象に、残りの接種を令和8年3月末まで公費で実施

定期接種の実施

小学6年生から高校1年生相当の女子を対象に、接種を公費で実施

キャッチアップ接種とは…

ワクチン接種の積極的勧奨が一時的に差し控えられていたことにより、接種機会を逃した者を対象として、従来の接種年齢を超えて接種する機会を提供しているもので、令和4年4月から令和7年3月まで実施



在宅人工呼吸器使用者の非常用電源整備事業（精神保健・難病対策課）

88万円

災害時における在宅人工呼吸器使用者の非常用電源の確保を促進

災害時保健医療体制の構築（地域医療課）

228万円

災害時健康危機管理支援チーム（DHEAT）の派遣体制を含む、災害時の保健医療体制の構築を図る

災害時における保健医療提供体制の整備

災害時保健医療体制の整備

- 災害時に対応できるよう、関係機関と連携した訓練の実施
- 市外の被災地へ災害時健康危機管理支援チーム（DHEAT）を派遣できるよう職員の育成、チーム編成等に取り組む



島しょ診療所運営事業（地域医療課）

1億5,921万円

島しょ診療所を設置し、島民の健康保持に必要な医療を提供

急患診療対策（地域医療課）

17億8,604万円

休日等における急病患者に適切な医療を提供するため、急患診療所を運営

がん検診（地域保健課）

11億8,643万円

各種がん検診を実施しながら、がん検診の受診率向上を図るため受診勧奨等を実施

がん検診の推進

各種がん検診の実施

- 胃がん検診（バリウム検査・胃カメラ検査）
- 大腸がん検診
- 乳がん検診
- 子宮頸がん検診
- 肺がん検診
- 前立腺がん検診

受診率向上への取組み

- 健診ガイドの全戸配布
- 受診勧奨ハガキの送付
節目年齢や検診歴がある
市民等にDMを送付

など



無料クーポン券の配布

- 乳がん検診（昭和59年4月2日～昭和60年4月1日生まれの人）
- 子宮頸がん検診（平成16年4月2日～平成17年4月1日生まれの人）



骨髄等移植ドナー助成事業（健康危機管理課）

204万円

骨髄等の提供者でドナー休暇制度のない方に対して、助成金を交付

（がん患者への支援）

小児・AYA世代がん患者在宅療養生活者支援事業（精神保健・難病対策課）

110万円

安心して地域で療養生活を送ることができるように、40歳未満のがん患者の在宅療養を支援

アピアランスケア推進事業（精神保健・難病対策課）

955万円

がん患者及びがん経験者の社会参加を支援するために、医療用ウィッグや補整具等の購入費用を助成

健康で安全な暮らしの確保



- 国際化に伴う感染症危機管理体制を強化します。また、薬物乱用対策、依存症対策に取り組みます。
- 市民の健康で安全な暮らしを確保するため、食品衛生や環境衛生などに関する施策を推進するとともに、動物の愛護・適正飼育に関する取組みを進めます。

予防接種（带状疱疹ワクチン）（健康危機管理課）

1億3,070万円

令和7年4月より、带状疱疹ワクチン接種費用の半額程度を助成

带状疱疹ワクチン接種事業

新規 定期接種費用の半額程度を助成

【対象者】 福岡市に住民票があり、下記に該当する方

- ① 65歳の方（経過措置あり）
- ② 60歳以上65歳未満の方で、ヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能に日常生活がほとんど不可能な程度の障がいがある方（身体障害者手帳1級相当）



新規 任意接種費用の半額程度を助成

【対象者】

福岡市に住民票がある50歳の方（経過措置あり）

带状疱疹とは…

- ・過去に感染した水痘ウイルスが、免疫力低下によって再活性化して引き起こされる皮膚の病気
- ・80歳までに約3人に1人が発症すると推定されている

予防接種（健康危機管理課）

46億4,192万円

感染症の拡大防止等のため、予防接種法に基づく各種予防接種を実施

予防接種（新型コロナウイルスワクチン）（健康危機管理課）

15億2,819万円

高齢者等を対象に、予防接種法に基づく新型コロナウイルスワクチン定期接種を実施

エイズ・性感染症対策（健康危機管理課）

2,689万円

HIV感染者、エイズ・性感染症患者の早期発見・早期治療のため、検査事業・相談対応を実施

結核対策（健康危機管理課）

1億5,924万円

結核の発生予防、早期発見・早期治療及びそのまん延の防止を目的として、健康診断を実施

結核健康診断における検査画像データ管理の効率化

新規 結核健康診断における画像データの全市一括管理システムの導入（2,101万円）

国内における結核罹患率（人口10万人対結核患者数）は年々低下しているものの、本市においては、集団感染事例も報告されていることから、まん延防止のためには適切な対策を講じる必要がある。

区ごとに実施している結核健康診断のデータ管理について、全市一括管理システム導入により一元管理を行い、業務の効率化を図る。

結核健康診断とは…

- ・胸部X線検査により肺や気管支などの異常を調べる
- ・65歳以上の方等を対象に各区保健福祉センターにて無料で実施



健康危機管理対策（健康危機管理課）

1,249万円

「福岡市感染症予防計画」等に基づき、健康危機管理体制を強化

健康危機の発生に備えた平時からの取組み

新型インフルエンザ等対策行動計画の改定

令和6年12月に国が示した「市町村新型インフルエンザ等対策行動計画改定ガイドライン」等を踏まえ、市計画を改定し、感染症発生時に備えた平時の準備や対策の強化を図る。

職員等に向けた研修・訓練の実施

保健所職員や応援職員、IHEAT要員（※）に向けた研修・訓練の実施、国の研修会への職員派遣により、人材養成と資質の向上を図る。

（※ 健康危機発生時に保健所等の業務を支援する外部の専門職）

防疫用備品の整備や物資等の備蓄

感染症発生に備え、アイソレーター等の防疫用備品の整備や、防護服等の物資の備蓄を行う。



薬物乱用対策（医薬務・衛生推進課）

283万円

大麻、市販薬等の薬物乱用防止のため、若年層へ向けた啓発活動を強化

飲食店等への監視指導（食品安全推進課）

1億4,880万円

食品の安全性確保のため、飲食店等への監視指導、食中毒対策及び事業者の自主的衛生管理の促進に関する取組みを実施

市民への情報提供（食品安全推進課）

1,028万円

市民に対する食品の安全性に関する正しい知識の普及、理解の向上を図る取組みを実施

安心安全な宿泊環境の確保（医薬務・衛生推進課）

2,257万円

安心安全な宿泊環境を確保するため、健全な民泊施設を推進する取組みを実施

保健衛生・環境分野に関する試験・研究（環境科学課）

2億5,983万円

感染症、食品、水質・大気等に関する試験検査及び調査研究を実施

葬祭場の火葬炉設備等更新（生活衛生課）

1,861万円

将来的な火葬件数の増加に対応するため、葬祭場の老朽化した火葬炉設備等の更新(令和8年度～)に向けた事業者の決定

とき もり
福岡市葬祭場「刻の森」の整備

新規 火葬炉設備等の更新に向けた事業者の選定・契約

火葬炉の設計・製作に係る発注支援業務委託を発注し、事業者を選定のうえ契約を締結

福岡市葬祭場「刻の森」(南区松原6丁目1-1)

- 供用開始 平成17年10月1日
- 火葬炉 26炉(うち胞衣炉1炉)
- 告別室、収骨室 各6室



整備内容

- 火葬炉設備等の更新
 - ・事業者選定 令和7年度
 - ・更新期間(予定) 令和8～12年度(5年間)
 - ・更新の内容
 - 火葬炉(26炉)、排ガス処理設備、
 - 告別室・収骨室改修、受変電設備、空調設備等
- 事業者選定スケジュール(予定)
 - ・入札公告 令和7年4月
 - ・入札書類(提案書)の受付 令和7年9月
 - ・落札者の決定及び公表 令和7年12月
 - ・事業契約の締結 令和8年2月

犬猫譲渡推進事業（生活衛生課）

1,989万円

収容犬猫の殺処分を削減するため、市民ボランティアとの共働による犬猫の譲渡を推進

収容動物の精密検査・診断及び治療

新規 収容動物の精密検査・診断（107万円）

体調不良の犬猫について、精密検査・診断を獣医師会に委託

新規 収容動物の治療（50万円）

高度な技術や生命に関わる緊急的治療を動物病院で実施



飼い主のいない猫等の不妊去勢手術推進事業（生活衛生課）

2,170万円

野良猫及び多頭飼育の猫の不妊去勢手術の支援を本格実施

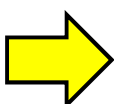
飼い主のいない猫等の不妊去勢手術の推進

野良猫の繁殖や多頭飼育崩壊を抑制し、猫の収容及び殺処分の削減を図るため、令和5年度より開始した「飼い主のいない猫等の不妊去勢手術推進モデル事業」について、支援頭数を拡充し本格実施

拡充 令和7年度の拡充ポイント

・手術支援頭数を1,600頭に拡大

R6（800頭）	
○野良猫（選定枠）	500頭
☆野良猫（公募枠）	200頭
●多頭飼育	100頭



R7（1,600頭）	
○野良猫（選定枠）	500頭
☆野良猫（公募枠）	1,000頭
●多頭飼育	100頭



動物愛護管理センター老朽化対応の検討（生活衛生課）

600万円

老朽化している動物愛護管理センターについて、市民が訪れやすく、動物福祉に配慮した施設とするために、役割や機能など、センターの方向性について検討を行う

動物愛護管理センターの方向性を検討

新規 求められる役割・必要な機能などの検討

- ・現状、課題の分析
- ・求められる「役割」と必要な「機能」などセンターの方向性を検討



重複・多剤服薬者等に対する保健指導事業（保険医療課）

1,747万円

適正な受診・服薬の取組みを保健指導の観点から一体的に実施

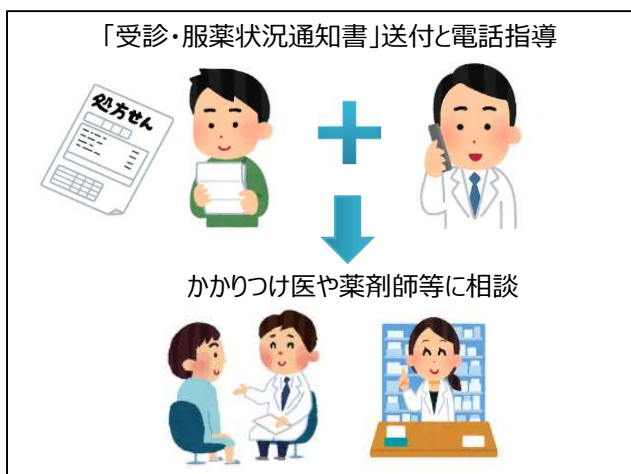
レセプトデータを分析し、適正な受診・服薬へのアプローチ

好ましくない受診と服薬の両面にアプローチ

レセプトデータ分析を行い、重複・多剤・併用禁忌等の好ましくない受診や服薬がある者にアプローチする



受診・服薬情報通知書と保健指導でアプローチ



（国民健康保険事業）

医療費適正化の推進（保険医療課）

4億1,465万円

第3期給付適正化計画に基づき、ジェネリック医薬品の普及促進等を推進

保険料の納付勧奨等事業（保険年金課）

3,800万円

保険料の収納対策として、オートコールやSMS（ショートメッセージサービス）を活用し、未納の方への早期納付勧奨を実施

03 組織編成案

新設

变更

令和6年度（R6.4.1時点）				令和6年度（R6.7.1整備済み）			
保健医療局		219		保健医療局		353	
理事 総務企画部 総務課 保健医療政策課 保険年金課 保険医療課 病院事業課 健康医療部 地域医療課 保健予防課 地域保健課 口腔保健支援センター 精神保健福祉センター 副所長 生活衛生部 生活衛生課 食品安全推進課 動物愛護管理センター 食肉衛生検査所 食品衛生検査所 健康危機管理部 健康危機管理課 保健環境研究所 保健科学課 環境科学課				理事 総務企画部 総務課 保健医療政策課 保険年金課 保険医療課 病院事業課 健康医療部 地域医療課 地域保健課 口腔保健支援センター 精神保健福祉センター 副所長 生活衛生部 生活衛生課 動物愛護管理センター 食肉衛生検査所 食品衛生検査所 保健所 健康危機管理部 感染症対策部 精神保健・難病対策部 地域衛生部 保健環境研究所 保健科学課 環境科学課			

令和7年度（R7.4.1時点）

保健医療局	354		
理事			
総務企画部	59	総務課	7
		保健医療政策課	6
		保険年金課	23
		保険医療課	16
		病院事業課	6
健康医療部	34	地域医療課	8
		地域保健課	14
		口腔保健支援センター	2
		精神保健福祉センター	9
		副所長	
生活衛生部	49	生活衛生課	9
		動物愛護管理センター	14
		食肉衛生検査所	15
		食品衛生検査所	10
保健所	176		
健康危機管理部	18	健康危機管理課	17
感染症対策部	24	感染症対策課	23
精神保健・難病対策部	26	精神保健・難病対策課	25
地域衛生部	107	医薬務・衛生推進課	9
		食品安全推進課	7
		東衛生課	13
		博多衛生課	22
		中央衛生課	18
		南衛生課	10
		城南衛生課	8
		早良衛生課	10
		西衛生課	9
保健環境研究所	35	保健科学課	22
		環境科学課	12

福岡市では、人生100年時代の到来を見据え、誰もが心身ともに健康で自分らしく活躍できる持続可能なまちを目指すプロジェクト『**福岡100**』を進めております。

『福岡100』WEBサイト ▶



福岡100
何歳でも
チャレンジできる
未来のまちへ